

**【表紙】**

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】     | 臨時報告書                            |
| 【提出先】      | 関東財務局長                           |
| 【提出日】      | 2024年3月22日                       |
| 【会社名】      | 株式会社コラボス                         |
| 【英訳名】      | Collabos Corporation             |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 茂木 貴雄                    |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区三番町8番地1                   |
| 【電話番号】     | 03-5623-3391                     |
| 【事務連絡者氏名】  | 代表取締役副社長 青本 真人                   |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区三番町8番地1                   |
| 【電話番号】     | 03-5623-3391                     |
| 【事務連絡者氏名】  | 代表取締役副社長 青本 真人                   |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>(東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

## 1【提出理由】

当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### (1) 当該事象の発生年月日

2024年3月22日（取締役会決議日）

### (2) 当該事象の内容

当社は、設立以来、コールセンター向けクラウドサービス事業として、コールセンター運営において必須の基本機能であるIP電話交換機システムや顧客情報管理（CRM）システムを中心に事業を展開してまいりました。一方、昨今のコールセンターシステムは、コミュニケーションチャネルの多様化やAI技術を利用したVOC分析及びマーケティング施策への活用等の市場環境の変化により、その役割は大きく変化しております。これらの環境変化や、それに伴う顧客ニーズの変化にも対応するため、当社は、新たなサービスへの開発投資とサービスラインナップの拡充を計画的に進め、2024年3月期を初年度とする中期経営計画においては、この成長投資を収益へつなげる販売拡大のフェーズへと移行しております。

このような背景の下、サービスごとに独立した体制、機能、キャッシュ・フローを備え、意思決定をより迅速化し、責任を明確化することで、拡充するサービスラインナップに対応するため、外部専門家等とも協議を重ねた結果、これまで単一としていた固定資産のグルーピングを、@nyplace関連サービス、ソフトフォン関連サービス、マーケティング及び業務効率化関連サービス、の3つへ変更することといたしました。

この変更に伴い、改めて「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を資産グループごとに検討した結果、当初想定した期間での回収が困難であると判断したことから、ソフトウェアの減損損失として約500百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

### (3) 当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、2024年3月期の個別決算において、ソフトウェアの減損損失約500百万円を特別損失として計上する予定であります。

以 上